

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
伝統芸能（養成研修）					
Q-1	研修室1	歌舞伎俳優研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・有効面積13.5m×7m以上を確保し、出入口を2か所設ける。 ・物入4m程度を設ける（物入には箱馬、小道具、体操マット、箏、三味線等を収納）。 【仕上・建具等】 ・床仕上は檜フローリングとする。	・備品等：化粧台、柵、体操マット、EVAマット、跳び箱
Q-2	研修室2				・備品等：化粧台、柵、体操マット、EVAマット
Q-3	研修室3	歌舞伎音楽（竹本）研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・有効面積8m×8m以上を確保する。 【仕上・建具等】 ・床仕上は檜フローリングとする。	
Q-4	研修室4				【空間構成】 ・和室とし、有効面積32畳以上を確保する。 ・押入を設ける。
Q-5	研修室5	歌舞伎音楽（鳴物）研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・和室とし、有効面積15畳以上を確保する。 ・押入を設ける。	
Q-6	研修室6				
Q-7	研修室7	歌舞伎音楽（大太鼓）研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・有効面積9.5m×7m以上を確保する。 ・物入を設ける（物入には太鼓、桶胴、撥、各種鳴物楽器を収納）。 【仕上・建具等】 ・床仕上はリノリウムとする。 ・大太鼓の使用に対する防音防振を特に考慮する。	
Q-8	研修室8	歌舞伎音楽（長唄）研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・和室とし、有効面積32畳以上を確保する。 ・押入を設ける。	
Q-9	研修室9				

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
Q-10	研修室10	大衆芸能（寄席囃子）研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・和室とし、有効面積50畳以上を確保する。 ・押入を設ける。	
Q-11	研修室11	大衆芸能（太神楽）研修に使用		【空間構成】 ・有効面積10m×6.6m以上を確保する。 ・物入を設ける（物入には五階茶碗、傘、投げ物等の太神楽道具を収納）。 【仕上・建具等】 ・床仕上は檜フローリングとする。 ・太神楽の稽古では2～3mの高さからの落下物が多いことに留意した床の強度を確保する。	
Q-12	研修室12	文楽（太夫）研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・和室とし、有効面積32畳以上を確保する。 ・押入を設ける。 【仕上・建具等】 ・壁面の1面以上を鏡面とする。	
Q-13	研修室13	文楽（三味線）研修に使用		【空間構成】 ・和室とし、有効面積32畳以上を確保する。 ・押入を設ける。	
Q-14	研修室14	文楽（人形）研修に使用する。		【空間構成】 ・有効面積11m×8.5mを確保する。 【仕上・建具等】 ・床仕上は檜フローリングとする。 ・壁面の1面以上を鏡面とする。 ・人形の稽古では高下駄を履いて足踏みをするを考慮した床の強度を確保する。	
Q-15	研修室15	既成者研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・和室とし、有効面積15畳を確保する。 ・押入を設ける。	
Q-16	研修室16			【空間構成】 ・有効面積6.4m×10mを確保する。 ・物置を設ける。 【仕上・建具等】 ・床仕上は檜フローリングとする。	
Q-17	とんぼ道場	歌舞伎俳優研修に使用		【空間構成】 ・有効面積15m×8mを確保する。 ・倉庫(13㎡程度)及び洗い場（足を洗える程度のものである。）を設置する。 【仕上・建具等】 ・安全かつ効率的にとんぼ（宙返り等の演技）の稽古が行える4m×6m程度の区画及び鉄骨の台（1.2m×1.2m程度）を置くスペースを設ける。なお、現状はコンクリート土間に4m×6m、深さ0.6m程度の砂場を設置し、1.4m×6m程度の助走路を設けており、詳細な仕様については振興会と協議のうえ決定する。	

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
Q-18	体操室			<p>【空間構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効面積13.5m×7mを確保し、脇に13㎡程度のスペースを確保する。 ・物入4㎡程度を設置する（物入にはマット、バランスボール、ダンベル等を収納）。 <p>【仕上・建具等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床仕上は檜フローリングとする。 	
Q-19	講義室			<p>【空間構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効面積8m×8.5mを確保する。 <p>【仕上・建具等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床仕上げは板張りとする。 	・備品等：AV機器（カセット、CD、VHS、DVDを視聴できること）、AVラック、収納棚
Q-20	倉庫①	研修で使用する衣裳、楽器等を保管	研修室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・温湿度管理ができるものとする。 	・備品等：スチールラック、ロッカー
Q-21	倉庫②	研修で使用する小道具、太神楽道具、書籍等を保管	研修室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・温湿度管理ができるものとする。 	・備品等：スチールラック、ロッカー
Q-22	多目的洗面室	歌舞伎化粧の研修に使用	研修室1及び研修室2に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・流し台10台程度を設置する。 	
Q-23	焙じ室	火気使用室（大鼓の皮を電熱器で長時間焙じる）	研修室5,6に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・火気を使用するので内装等に配慮する。 ・外から室内の様子が見えるよう、壁面に窓を設ける。 	
Q-24	オーディオ室			<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上げは板張りとする。 ・想定される音響機器等の電源容量に考慮した電源を設ける。 ・研修生閲覧用の資料は講師や関係者から収集した研修素材の音や映像であり、調査資料部門にて取り扱う資料収集物と区別して保存するための棚等を設置する。 	・備品等：AV機器（カセット、CD、VHS、DVDを視聴できること）、AVラック、収納棚
Q-25	研修生更衣室（男子）	研修生用（30人程度）	養成課執務室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・畳敷きとし、踏込み及び下足入れを設置する。 ・人数分（30人）のロッカーを設置する。 ・壁面に鏡を設置する 	
Q-26	研修生更衣室（女子）	研修生用（15人程度）	養成課執務室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・畳敷きとし、踏込み及び下足入れを設置する。 ・人数分（30人）のロッカーを設置する。 ・壁面に鏡を設置する 	
Q-27	研修生控室	研修生の休憩に使用	養成課執務室に近接		・備品等：カップボード
Q-28	シャワー室（男性）		研修生更衣室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーブースを3つ設ける。 ・シャワー水栓はサーモスタット混合栓とする。 ・脱衣スペースに鏡を設置する。 	
Q-29	シャワー室（女性）		研修生更衣室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーブースを3つ設ける。 ・シャワー水栓はサーモスタット混合栓とする。 ・脱衣スペースに鏡を設置する。 	

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
Q-30	講師控室（男性）		講師待合室に隣接	<ul style="list-style-type: none"> ・人数分（70人分）のロッカーを設ける。 ・更衣室ブースを2つ設ける。 ・鏡を設置する。 	・備品等：簡易応接セット
Q-31	講師控室（女性）		講師待合室に隣接	<ul style="list-style-type: none"> ・人数分（15人分）のロッカーを設ける。 ・更衣室ブースを2つ設ける。 ・鏡を設置する。 	・備品等：簡易応接セット
Q-32	講師待合室	講師の休憩に使用	養成課執務室に隣接		・備品等：応接セット
Q-33	リフレッシュスペース		講師待合室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙も可能な計画とする。 	
Q-34	給湯室		研修室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニキッチンを設置し、水栓は混合水栓とする。また、熱湯用水栓を別途設置する。 ・備品等に対応した電源を設置する。 	・備品等：冷蔵庫
Q-35	ランドリー室		研修生更衣室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・水漏れなど不慮の事故が発生しても、他の施設に影響が出ないものとする。 ・洗濯機用パンを設ける。 ・想定される機器の電源容量に考慮した電源を設ける。 ・乾燥機の仕様を考慮した換気設備を設ける。 ・下洗いや手洗いのためのシンクを設ける。 ・物干し竿を4本程度天吊りする。 	・備品等：洗濯機2台、乾燥機2台（洗濯・乾燥機一体型でないもの）
Q-36	女子トイレ		講師待合室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生器具の個数は（公社）空気調和・衛生工学会による「衛生器具の適正器具算定表」における学校の適正器具数レベル1以上とする。 ・男子トイレ及び女子トイレの便房にはそれぞれ1組以上の手すりを設ける。 ・男子トイレの小便器には1組以上の手すりを設ける。 ・男子トイレ及び女子トイレの洗面器にはそれぞれ1組以上の手すりを設ける。 ・洗面器は混合栓とし湯水が利用できるものとする。 	
Q-37	男子トイレ		講師待合室に近接		
Q-38	バリアフリースイール		講師待合室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ・洗面器は混合栓とし湯水が利用できるものとする。 ・車いすによる利用に対応したものとする。 	

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
現代舞台芸術（養成研修）					
R-1	レッスン室1	演劇研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・有効面積14.4m×12m以上を確保し、出入口となる前室を2か所設ける。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 【仕上・建具等】 ・床仕上は板張りとし、壁面の1面を鏡面とする。 【設備等】 ・照明機材等を取り付ける天井グリッドパイプを設置する。	・備品等：ピアノ（竖型）、オーディオセット、移動式バレエバー、照明機材
R-2	レッスン室2			【空間構成】 ・有効面積11.3m×9.4m以上を確保し、出入口となる前室を2か所設ける。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 【仕上・建具等】 ・床仕上げは板張りとし、壁面の1面を鏡面とする。 【設備等】 ・照明機材等を取り付ける天井グリッドパイプを設置する。	・備品等：ピアノ（竖型）、オーディオセット、移動式バレエバー、照明機材
R-3	レッスン室3	バレエ研修に使用	相互に近接	【空間構成】 ・有効面積18.3m×15m以上を確保し、出入口となる前室を2か所設ける。 ・見学等に用いるギャラリーを設ける。なお、ギャラリー下部は上記の有効面積に含めることも可とする。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 【仕上・建具等】 ・床仕上げはバレエ床及びリノリウムとし、壁面の1面を鏡面、他の2面にバレエバーを取り付ける。 【設備等】 ・照明機材等を取り付ける天井グリッドパイプを設置する。	・備品等：グランドピアノ、オーディオセット、移動式バレエバー、照明機材
R-4	レッスン室4			【空間構成】 ・有効面積15.4m×14.9m以上を確保し、出入口となる前室を2か所設ける。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 【仕上・建具等】 ・床仕上げはバレエ床及びリノリウムとし、壁面の1面を鏡面、他の2面にバレエバーを取り付ける。 【設備等】 ・照明機材等を取り付ける天井グリッドパイプを設置する。	・備品等：グランドピアノ、オーディオセット、移動式バレエバー、照明機材

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
R-5	レッスン室5	オペラ研修に使用	相互に近接	<p>【空間構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効面積15.8m×12.8m以上を確保し、出入口となる前室を2か所設ける。 ・見学等に用いるギャラリーを設ける。なお、ギャラリー下部は上記の有効面積に含めることも可とする。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 <p>【仕上・建具等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床仕上げは板張りとする。 ・壁面の1面を鏡面とする。 ・壁及び天井の仕上は多孔吸音ボード（石膏ボード）等を使用し、吸音性の室とする。必要に応じて、吸音楔や音響壁を設置する。 <p>【設備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明機材等を取り付ける天井グリッドパイプを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品等：グランドピアノ、指揮台、譜面台、指揮者用椅子、スタッキングチェア、椅子ラック、照明機材、音響機器、大型モニター
R-6	レッスン室6			<p>【空間構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効面積11.3m×9.4m上を確保し、出入口となる前室を2か所設ける。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 <p>【仕上・建具等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床仕上げは板張りとする。 ・壁面の1面を鏡面とする。 ・壁及び天井の仕上は多孔吸音ボード（石膏ボード）等を使用し、吸音性の室とする。必要に応じて、吸音楔や音響壁を設置する。 <p>【設備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明機材等を取り付ける天井グリッドパイプを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品等：グランドピアノ、指揮台、譜面台、指揮者用椅子、スタッキングチェア、椅子ラック、照明機材、音響機器、大型モニター
R-7	レッスン室7	バレエ研修に使用	相互に近接	<p>【空間構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効面積15.4m×14.9m以上を確保し、出入口となる前室を2か所設ける。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 <p>【仕上・建具等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床仕上げはバレエ床及びリノリウムとする。 ・壁面の1面を鏡面とし、別の2面にバレエバーを取り付ける。 <p>【設備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明機材等を取り付ける天井グリッドパイプを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品等：グランドピアノ、オーディオセット、移動式バレエバー、照明機材

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
R-8	レッスン室8	オペラ研修に使用	相互に近接、レッスン室5・6に近接	【空間構成】 ・有効面積5.2m×4.6m以上を確保し、出入口となる前室を設ける。 ・床から1.2m程度の高さに棚を設ける。棚の下部は空間とし、床面は室全体と同一の材料で仕上げる。 ・不整形の室にするなど、音響障害が生じないように配慮する。 【仕上・建具等】 ・床仕上げは板張りとする。 ・壁及び天井の仕上は多孔吸音ボード（石膏ボード）等を使用し、吸音性の室とする。	・備品等：グランドピアノ、譜面台、スタッキングチェア、姿見
R-9	レッスン室9				・備品等：グランドピアノ、譜面台、スタッキングチェア、姿見
R-10	講義室1	講義室1と2は隣接させ可能間仕切りで区画し、一体的な利用を可能とする	講義室1と2は隣接させ可能間仕切りで区画し、一体的な利用を可能とする	【空間構成】 ・有効面積7.5m×7.5m以上を確保する。 【仕上等】 ・床仕上げは板張りとする。 ・講義室1と2の間は可動間仕切り（遮音タイプ）で区画し、個別に使用する場合の防音性にも配慮する。	・備品等：AV機器（カセット、CD、VHS、DVDを視聴できること）、AVラック、収納棚、ピアノ（竖型）
R-11	講義室2				・備品等：AV機器（カセット、CD、VHS、DVDを視聴できること）、AVラック、収納棚
R-12	講義室3			【空間構成】 ・有効面積7.5m×7.5m以上を確保する。 【仕上等】 ・床仕上げは板張りとする。	・備品等：ピアノ（竖型）、AV機器（カセット、CD、VHS、DVDを視聴できること）、AVラック、収納棚
R-13	資料室	研修で使用・蓄積された楽譜（約3千冊）、図書、戯曲、DVD等を保管	主管事務室に近接	・床仕上げは板張りとする。 ・室内には、部屋の形状に合わせて集密書架を設置し、可能な限りの収納量を確保する。 ・備品等に対応した電源を設置する。	
R-14	トレーナー室	整体師兼トレーナーが常駐する。		・診察台及び治療器具を設置する。 ・治療器具などに対応した電源を設置する。	・備品等：診察台及び治療器具
R-15	現代舞台芸術研修主管事務室		現代舞台芸術研修エリアの入口に近接		

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
R-16	講師控室、更衣室及びシャワー室	研修講師が使用	講師控室は各コースのレッスン室に近接	<ul style="list-style-type: none"> 講師控室10㎡程度を各コースごと設け(3室)、それぞれのコースのレッスン室に近接させる。 12㎡程度の講師更衣室及びシャワー室を男女別に設ける。 シャワー水栓はサーモスタット混合栓とする。 更衣室に洗面化粧台を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 備品等：講師控室には、打合わせテーブル・イス、コートラック、更衣室・シャワー室には、ロッカー、姿見
R-17	倉庫	譜面台、姿見、バー、テーブル、ソファ、衣裳、小道具等を収納	レッスン室に近接		<ul style="list-style-type: none"> 備品等：スチールラック
R-18	研修生更衣室及び自習室	研修生用(約102名 男性46名・女性56名)	研修生更衣室及び自習室は各コースのレッスン室に近接	<ul style="list-style-type: none"> 研修生更衣室は、各コースごと男女別に設け(14㎡程度×6室)、それぞれに洗面台を2台設置する。 各研修生更衣室に隣接して16㎡程度2室(オペラ、バレエ用)、28㎡程度1室(演劇用)の自習室(計3室)を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 備品等：更衣室には、ロッカー、姿見、自習室には打合わせテーブル・イス
R-19	所長室	研修所所長が使用	主管事務室に近接	<ul style="list-style-type: none"> 15㎡程度の室を3室設ける。 ピクチャーレール、造付のロッカー及び書棚を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 備品等：打合せテーブル、椅子、姿見
R-20	講師室	海外招聘講師等が使用	主管事務室に近接	<ul style="list-style-type: none"> 15㎡程度を2室設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 備品等：応接セット、ロッカー、姿見
R-21	女子トイレ			<ul style="list-style-type: none"> 衛生器具の個数は(公社)空気調和・衛生工学会による「衛生器具の適正器具算定表」における学校の適正器具数レベル1以上とする。 男子トイレ及び女子トイレの便房にはそれぞれ1組以上の手すりを設ける。 男子トイレの小便器には1組以上の手すりを設ける。 男子トイレ及び女子トイレの洗面器にはそれぞれ1組以上の手すりを設ける。 洗面器は混合栓とし、湯水が利用できるものとする。 	
R-22	男子トイレ				
R-23	バリアフリートイレ			<ul style="list-style-type: none"> 洗面器は混合栓とし、湯水が利用できるものとする。 車いすでの利用に対応したものとする。 	
R-24	給湯室		レッスン室に近接	<ul style="list-style-type: none"> ミニキッチンを設置し、水栓は混合水栓とする。また、熱湯用水栓を別途設置する。 備品等に対応した電源を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 備品等：冷蔵庫、製氷機
共通 (養成研修)					
S-1	養成研修施設廊下			<ul style="list-style-type: none"> 廊下及びセキュリティエリア境界の出入口に監視カメラを設置する。 	